

Blackstar^{*}
AMPLIFICATION

ID:X FLOOR

ID:X FLOOR ONE, ID:X FLOOR TWO, ID:X FLOOR THREE

オーナーズマニュアル

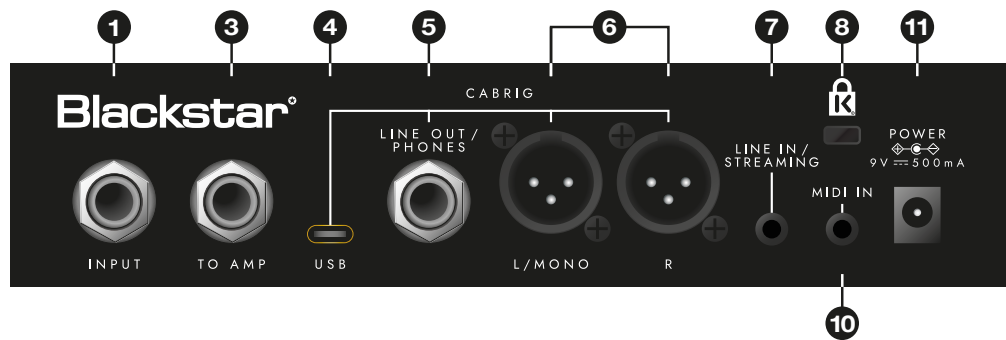
the sound in your head

Designed and Engineered by
Blackstar Amplification UK 

ID:X FLOOR ONE - トップパネル



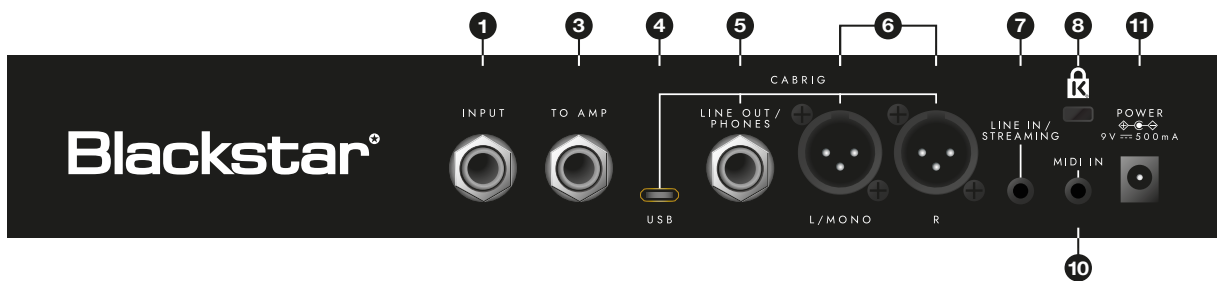
ID:X FLOOR ONE - 背面パネル



ID:X FLOOR TWO - トップパネル



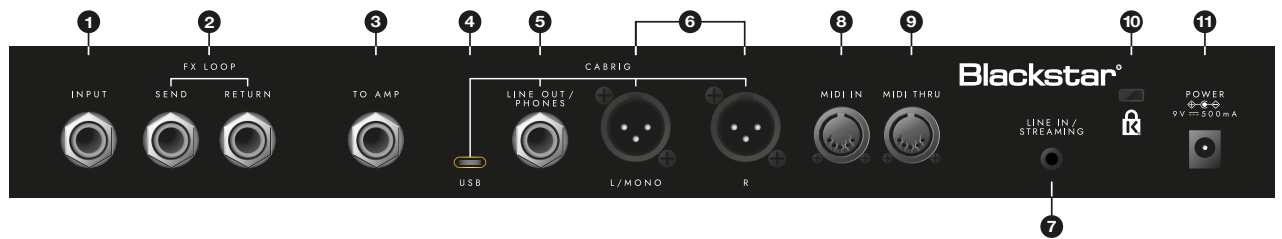
ID:X FLOOR TWO - 背面パネル



ID:X FLOOR THREE - トップパネル






ID:X FLOOR THREE - 背面パネル





安全上のご注意


- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」を良くお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保管してください。
- 機器本体に表示・貼付されているマークには、次のような意味があります。


	注意 感電の恐れあり キャビネットをあげるな	
<p>注意：高温になる箇所がありますので、むやみに手を触れないでください。 この機器の内部には、お客様が修理・交換できる部品はありません。 ご使用前に取扱説明書をよくお読みください。</p>		


	<p>このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。</p>
---	---


	<p>このマークは、注意喚起シンボルであり、取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。</p>
---	--


	<p>警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。</p>
--	---


電源電圧について	
	<p>表示された電圧(AC100V)以外の電圧で使用しないでください。 火災・感電の原因になります。</p>


分解・改造について	
	<p>この機器を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。内部にはお客様が修理・交換できる部品はありませんので、修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。</p>


温度について	
	<p>この機器は正常に動作しているときでも、真空管、放熱板、及び各種トランスの表面は高温になります。この機器の使用中和、電源を切ってから30分以内は、火傷の恐れがあるので、開口部よりキャビネットの中に手を入れないでください。</p>

液体・異物について	
	<p>この機器、もしくはキャビネットの中に、付属品以外の機器、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や、液体（水やジュースなど）を絶対に入れたり、こぼしたりしないでください。また、この機器の上に飲物を置くのもやめてください。万一、異物が入ったり、液体がこぼれたときは、直ちに電源スイッチを切り、電源コードなどを取り外し、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。</p>

電源コードの取り扱いについて	
	<p>電源コードを無理に曲げたり、上に重いものを乗せたりしないでください。電源コードに傷がつきますし、電源コードやプラグが破損して火災、感電の原因になります。</p>

雷について	
	<p>雷が発生して、雷鳴が聞こえるときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止してください。直接の落雷でなくとも、近距離に落雷があったときは、コンセントに高電圧が発生し、感電する危険があります。</p>

音量について	
	<p>この機器を単独で、あるいはヘッドフォン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては、永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量や不快なほどの音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。</p>

開口部・ファンについて	
	<p>この機器のすべての開口部をカーテンや幕、その他の物体で塞がないでください。放熱が正常にできなくなり、発熱、火災の原因になります。また、放熱ファンにひも、電線、針金などを近づけないでください。もしこれらのものがファンに入ると、ファンの回転で引き込まれ重大な事故の原因となります。</p>

使用場所・保存について



次のような場所での使用や保存はしないでください。火災・感電の原因となります。

- 温度が極端に高い場所。(直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、発熱する機器の上など)
- 水気の近く(風呂場、洗面台、濡れた床など)や湿度の高い場所。
- ホコリの多い場所。
- 振動の多い場所。
- 雨天の野外。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的障害の発生が想定される内容を表示しています。

電源コード・電源プラグについて



◆ 電源コードを抜き差しするときは、必ず電源プラグを持って行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



◆ 濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電することがあり、危険です。

◆ 長時間使用しない場合は、電源コードをコンセントから外してください。

修理について



修理に出される場合、記憶した内容が失われる場合があります。必要な記憶内容はメモなどに保管しておいてください。消失した記憶内容に関しましては、修復、補償も含めて、ご容赦願います。

ヒューズ交換について



※外にヒューズホルダーが取り付けられている機種でヒューズが切れた場合、交換せずそのままお買い上げの販売店に修理を依頼してください。ヒューズが切れた原因は内部の故障にありますので、故障を直さずに再び電源を入れるのは、火災の原因となり危険です。

取り扱いについてのご注意

本機は精密機器です。以下の注意事項を守って大事にお取り扱いください。

- 湿気、雨または水、直射日光にさらしたり、非常に高温になる場所には設置しないでください。
- アンプが正しくグラウンドに接地されていることを常に確認してください。
- ヒューズや真空管を交換する前には、必ずACコードを抜いてください。
- 熱くなった真空管には直接触れないでください。
- アンプの背面は、換気ができるように十分な空間を確保してください。
- アンプは小さなお子様の手の届かない場所に設置してください。
- AC電源は、必ず機器の裏側に記されている電源の規格に従って接続してください。
- 落雷の危険がある場合は、コンセントからプラグを抜いてください。
- 結露の恐れがある場合は、本機が環境温度になってから電源を入れてください。
- スピーカーと他の再生機器の損傷を防ぐために、機器の接続を行う前は電源を切っておいてください。
- スイッチやキーに過度の力を加えることはおやめください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 本機を掃除する場合、外面を柔らかいクロスで拭いてください。
ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用することは絶対におやめください。

■ 本機は大音量を発します。

■ ボリュームを上げた状態で聴き続けると、聴力を永久に失う恐れがあります。

■ 内部にはユーザーが交換可能なパーツはありません。

■ 修理は有資格の技術者にご相談ください。

■ シャーシを取り外す前に、必ずAC電源コンセントから電源プラグを抜いてください。

■ 必ず正しい電圧(100V)でご使用ください。

内容

上部パネルと背面パネル	2 - 4	¼インチ INPUT ジャック	16
警告	5 - 6	Effects Loop (ID:X FLOOR Three only)	16
はじめに	8	Effects Loop Send	16
特長	9	Effects Loop Return	16
		'To Amp' Output	17
		USB	17
トップパネル	10	USB オーディオ出力(デバイス → コンピューター)	17
VOICE セレクター	10	¼" Stereo Headphone/Line Output	18
コントロールノブ	10	XLR 出力	18
Gain	10	Line In / Streaming	18
Volume	10	MIDI In	18
Bass	10	MIDI Thru (ID:X Floor Three のみ)	18
Middle	11	ケンジントン・ロック	18
Treble	11		
ISF	11		
Master	11	エフェクト・ブロック (Effect Blocks)	19
GATE (シフト機能)	11	エフェクトのナビゲーションと選択	19
Resonance (シフト機能)	11	FX ブロックのフォーカス	20
Presence (シフト機能)	12	ディレイ・タイム表示	20
Response	12	TAP ボタン	20
Voice Mode	12	ディレイ・トレイル/リバーブ・テイル	20
Manual Mode	12		
Shift	12	エクスプレッション・ペダル	21
音声選択表	13	Custom 割り当て	21
		キャリブレーション	21
CABRIG — シミュレーテッド・アウトプット	13	パッチ (PATCHES)	22
CabRig 設定の編集方法	14	パッチの移動方法	22
CabRig Parameters	14	パッチの保存方法	22
		パッチ・リコールおよびリコール・ディスタンス・リング	23
エフェクト (EFFECTS)	15	マニュアル・モード (Manual Mode)	23
Pre FX	15		
Modulation	15	ファクトリー・リセット	24
Delay	15		
Reverb	15	MIDI コントロール	24
Type	15		
Page	15	MIDI 機能一覧表	25 - 26
Expression Pedal	15		
Footswitches	16	エフェクトの説明表	27 - 29
PATCH UP / DOWN (ID:X Floor One & Two のみ)	16		
CH1 CH2 CH3 (ID:X Floor Three のみ)	16	技術仕様	30
EFFECT フットスイッチ (ID:X Floor Three のみ)	16		
Tuner	16		
チューナーの使い方	16, 24		
チューナーを終了する方法	16, 24		
リアパネル	16		

はじめに

このたびは、Blackstar ID:X Floorをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、他のすべての Blackstar 製品と同様、世界最高水準の設計チームによる、長時間にわたる綿密な研究開発の成果として誕生しました。英国ノーサンプトンを拠点とする Blackstar チームは、全員が経験豊富なミュージシャンであり、開発プロセスの唯一の目的は、ギタリストの自己表現を最大限に引き出す究極のツールを提供することです。

すべての Blackstar 製品は、信頼性・品質、そして何よりも トーン において一切の妥協がないことを保証するため、徹底したラボテストおよび実地テストを実施しています。

本ハンドブックをよくお読みいただき、新しい Blackstar 製品の性能を最大限にご活用ください。また、本製品を気に入っていただき、Blackstar 製品ラインアップについてさらに詳しくお知りになりたい場合は、下記ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.blackstaramps.com>

今後とも Blackstar 製品をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

Blackstar チーム一同

特長

ID:X Floor アンプ・モデラーは、ギタリストの進化し続けるニーズに応えるべく、長年にわたる研究開発の成果として誕生しました。2007年以降に培ってきた Blackstar の革新の系譜を受け継ぎ、ID:X Floor シリーズは、最先端のデジタル・シグナル・プロセッシング、真空管アンプさながらのレスポンス、緻密なエフェクト・コントロール、そして高い操作性を融合しています。

ライブパフォーマンスとスタジオクオリティの機能をシームレスに統合した ID:X Floor シリーズは、そのクラスにおけるアンプ・モデラーの新たな基準を打ち立てます。あらゆるレベルのミュージシャンのために設計された本製品は、以下の特長を備えています。

- クリーンからハイゲインまでを網羅する 12種類の多彩なギターアンプ・ボイス (Blackstar オリジナル6種+Ampton Series 6種。往年の名機をコンポーネント・レベルで精密に再現)
- ビンテージの温かみからモダンで力強いサウンドまで対応する 3種類の強化されたベースアンプ・ボイス
- 3種類のアコースティック・ボイス(高精度なアコースティック・シミュレーターを含む) アコースティックギター用ピックアップはもちろん、エレキギターをダイナミックなアコースティックサウンドへ変換可能
- 特許技術 True Valve Power (TVP) に基づく真空管レスポンス・エミュレーション EL84、EL34、6L6 各パワー管のトータルキャラクターを再現
- 30種類以上のスタジオクオリティ・エフェクト (Pre FX、モジュレーション、ディレイ、リバーブ)
- 演奏をクリアに保つ 内蔵ノイズゲート
- ライブ演奏時の素早い音色切り替えを可能にする 99のパッチメモリー
- エフェクト調整、パッチ選択、編集時にリアルタイム表示が可能な 高輝度 OLED ディスプレイ
- 高度な IR ベースのスピーカー／マイク・エミュレーションを備えた CabRig レコーディング・インターフェース、ヘッドホン、PA へ直接、リアルなサウンドを出力
- USB オーディオ、ライン入力、ヘッドホン出力、MIDI を搭載し、あらゆるシステムに柔軟に統合可能
- ペダルボード構成を最大限に活かす ハードウェア・エフェクトループ ID:X Floor Three のみ)
- 利便性の高い 高精度クロマチック・チューナー を本体に内蔵
- より深いカスタマイズと簡単なファームウェア更新を可能にする 無償の Architect ソフトウェア
- 次世代のパッチ共有プラットフォーム Architect Community 2.0

トップパネル

1. VOICE セレクター

選択されている Voice Mode (13) に応じて、ギターアンプ、アコースティック、またはベースアンプの各ボイスを選択します。

利用可能なすべてのボイスの詳細については、14 の「Voice Selection Table」をご参照ください。本設定は、パッチを保存すると記憶されます。

コントロールノブ

各コントロールノブの現在位置は、OLED ディスプレイ上に視覚的に表示されます。リコール位置が表示される場合もあります。

詳細については、22 の「Patch Recall & Recall Distance Ring」をご参照ください。

2. GAIN

Amps 1、Amps 2、および Bass ボイスの場合

プリアンプのオーバードライブ／ディストーション量を調整します。

低い設定（反時計回り）ではクリーンなサウンドとなり、時計回りに回すにつれて歪みが増加し、最大位置で最大のディストーションが得られます。

Acoustic ボイスの場合

クリーンな入力プリアンプの信号レベルを調整します。設定を高くしても、プリアンプのサチュレーションは発生しません。

GAIN の設定は、パッチ保存時に記憶されます。

3. VOLUME

Amps 1、Amps 2、および Bass ボイスの場合

プリアンプ出力の音量レベルを調整します。時計回りに回すと音量が増加します。

VOLUME を高く設定すると、選択している Response (12) に応じた、真空管パワーアンプ特有の歪みやコンプレッション効果が加わります。

本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

Acoustic ボイスの場合

プリアンプ全体の出力レベルを調整します。高い設定でもサチュレーションは発生しません。

トーンスタック

ID:X Floor シリーズは、実機に忠実なトーンスタック・モデリングを採用しています。

EQ コントロールは実際のアナログアンプと同様の挙動を示すトータルネットワークとなっており、自然で反応の良いトーンコントロールを実現します。

4. BASS

低域成分のレベルを調整します。

すべての EQ コントロールは、選択されているボイスに合わせて最適化されています。

例えば、St. James 6L6 (Clean Warm) は低域が豊かである一方、Artisan 30 (Clean Bright) はよりタイトな低域レスポンスとなります。

本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

5. MIDDLE

中域成分のレベルを調整します。

中域は音の「太さ」や存在感を決定づける重要な要素です。

最小位置(反時計回り)では中域がスクープされ、時計回りに上げるにつれて音のボディ感が増します。本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

6. TREBLE

高域成分のレベルを調整します。

低い設定では暖かくダークな音色となり、時計回りに回すにつれて、より明るいサウンドになります。

本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

7. ISF(Amps 1 ボイスのみ)

特許技術である ISF コントロールは、Bass、Middle、Treble と連動して動作し、好みのトーンキャラクターを選択できます。

反時計回りではタイトな低域とアグレッシブな中域を持つアメリカンな特性となり、時計回りではウディでマイルドなブリティッシュ特性となります。

一般的なコンターコントロールやパラメトリック EQ とは異なり、Bass、Middle、Treble は従来のギターアンプ同様、相互に影響し合います。これにより、非常に音楽的で自然なレスポンスが得られます。本設定は、パッチ保存時に記憶されます。



ヒント: ISF を中央位置に設定し、Bass、Middle、Treble を好みに合わせて調整した後、ISF を徐々に左右に動かして理想のサウンドを探してみてください。

注記: Bass および Acoustic ボイスでは、ISF は 周波数 (FREQ) 選択コントロールとして機能します。Middle (5) で調整される中域の中心周波数を選択できます。

8. MASTER

本体の ¼ インチ出力および XLR 出力の全体音量を調整します。

時計回りに回すと音量が増加します。

本設定はグローバル設定であり、パッチ保存時には記憶されません。

9. GATE(シフト機能)

内蔵ノイズゲートは、不要なハムやヒスノイズを低減します。

SHIFT (15) を押しながら Gain を調整することで、ゲートのスレッシュホールドを設定します。

低い設定ではサステインを多く保持し、高い設定ではノイズをより強くカットし、ハイゲイン時にタイトなサウンドが得られます。

本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

10. RESONANCE(シフト機能/Amps 1 & 2 のみ)

選択している Response (12) の低域キャラクターを調整します。

低い設定ではタイトで引き締まった低音に、高い設定では厚みと迫力のある低音になります。

SHIFT (15) を押しながら Bass (4) を調整することでアクセスできます。

本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

11. PRESENCE (Shift control) (Amps 1 & 2 only)

選択している Response(12) の高域キャラクターを設定します。
低い設定では滑らかでダークな音色に、高い設定では明瞭さと抜けの良さが加わります。
SHIFT(15)を押しながら Treble(6)を調整することでアクセスできます。
本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

12. RESPONSE(Amps 1、Amps 2、Bassのみ)

3段階スイッチにより、異なる真空管パワーアンプの特性をエミュレートし、全体のフィーリングやニュアンスに影響を与えます。
本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

Amps 1 & 2:

- **EL84**: 明るく、バランスの取れた低域、ヴィンテージ感のあるフィーリング
- **EL34**: 豊かな中域と温かみ、ダイナミックなサチュレーション
- **6L6**: 深い低域とクリアな高域を備えた力強いサウンド、高いヘッドルーム

Bass:

- **LINEAR**: クリーンで色付けのないサウンド。フルレンジで透明感のあるトーンに最適
- **6550**: タイトな低域と滑らかな高域を備えた、パンチのある力強いサウンド
- **6L6**: 丸みのある温かい音色と、クラシックな低中域のグロウル、コントロールされた高域

13. VOICE MODE

Voice Mode では、3つのアンプボイス・グループを切り替えることができます。

- Amps 1: クリーンからハイゲインまでの Blackstar シグネチャーサウンド
- Amps 2: Blackstar の AMPTON モデルによって再構築された伝説的トーン
- Acoustic / Bass: 2種類のリッチなアコースティック・ボイス、リアルなアコースティック・シミュレーター、3種類のパワフルなベースアンプ

Voice Mode ボタンを押すごとに切り替わり、LED で現在のグループが表示されます。その後、Voice ノブで各グループ内の 6 種類のボイスを選択します。
本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

14. MANUAL MODE

- マニュアルモード(「見たままの音」)を有効にします。現在のノブ位置が、そのままサウンドに反映されます。
- マニュアルモードへ切り替える際、オンになっているエフェクトは一旦オフとなり、リセットされます。マニュアルモード中でも、Architect ソフトウェアや MIDI などの外部ソースから各パラメータを変更することは可能ですが、その場合、フロントパネル上のノブ位置と実際のサウンドは一致しくなくなります。

15. SHIFT

SHIFT を押しながら、シフト機能を持つコントロールを操作することで、Gate(9)、Resonance(10)、Presence(11)などの追加機能にアクセスできます。

Voice Selection	Amps 1	Amps 2	Ac / Bass
Clean Warm	ST JAMES 6L6 Smooth, open clean with full lows and rich dynamics.	1 AMPTON TWIN Emulating a 1969 Twin Reverb ® AB763 circuit. Iconic clean tone with deep lows and sparkling highs.	ACOUSTIC 1 Natural, balanced acoustic tone with clear highs.
Clean Bright	ARTISAN 30 Chimey and clear with a natural, expressive breakup.	AMPTON ACE30 Emulating a rare, non-serial-number Vox ® AC30 handwired preproduction head model. Bright and jangly with smooth, dynamic breakup.	ACOUSTIC 2 Bright and detailed acoustic voicing for live or studio.
Crunch	ST JAMES EL34 Edgy, vintage-style drive with punchy mids.	AMPTON PLEXI Emulating a late-1960s Marshall® Super Lead (1959) “Plexi”. Warm, dynamic crunch with strong mids and classic rock bite.	ACOUSTIC SIM Makes an electric guitar sound like an acoustic.
Super Crunch	HT CLUB 50 Thick, powerful overdrive with tight attack.	AMPTON 800 Emulating Founder Ian Robinson’s own vintage Marshall ® JCM800 2203 model. Iconic edgy and focused gain with fast response and bite.	BASS CLASSIC Warm, vintage-style tone with grit when pushed.
OD1	SERIES ONE 100 Saturated high-gain with warm mids and singing sustain.	AMPTON REC Emulating the ‘Red Channel’ of an original Mesa Boogie ® Dual Rectifier. Heavy and aggressive tone with tight punch and huge sustain.	BASS MODERN Punchy, clear and precise for modern bass styles.
OD2	ST JAMES 100 Crushing distortion with aggressive low-end and tight response.	AMPTON 6L6 Emulating the highly sought after 1992 ‘block letter’ Peavey ® 5150. Modern scooped high-gain with tight lows and soaring leads.	BASS FLAT Clean and neutral tone with excellent transparency.

CABRIG — シミュレーテッド・アウトプット

CabRig は、Blackstar が開発した 次世代の高精度 IR ベース・キャビネット+マイク・シミュレーションです。

フィーリングおよびレスポンスの大幅な向上に加え、独自の In The Room™ アルゴリズムを搭載することで、ID:X Floor は箱出しの状態から直感的に優れたトーンを提供します。

ITR™ (In The Room™) は、単にマイクで収録したキャビネットの音を再現するのではなく、実際の空間で本物のアンプを鳴らしているかのような演奏感を実現する、Blackstar 独自のスピーカー・エミュレーション技術です。

ステージ上でも、ヘッドホン使用時でも、より没入感があり、自然なサウンド体験を提供します。

16. CABRIG

CABRIG スイッチを押すことで CABRIG が選択され、設定内容がディスプレイに表示されます。これらの設定は、パッチを保存すると記憶されます。

CabRig 設定の編集方法

ID:X のディスプレイ部には、2つのプッシュ式エンコーダー Type(21) と Page(22) が搭載されています。

どちらも回転させることでパラメータを調整できますが、押した際の機能が異なります。

Type

- Type を押す:異なるキャビネット・タイプを表示
- Type を回す:キャビネット・タイプをスクロールし、試聴
- 再度 Type を押す:パラメータ画面に戻る

Page

- Page を押す:追加のキャビネット・パラメータを表示(対応している場合)
- 再度 Page を押す:前のパラメータ画面に戻る

CabRig Parameters:

Amps 1 & 2

Cab Type	Microphones	Room Level	Room Size	Room Width
DI St. James 112 HT Venue 112 St. James 212 VOC Artisan 212 Artisan 412A Series One Pro 412B	ITR™ Dynamic 57 Condenser 67 Ribbon 121	0-10	Small Medium Large	Close Spaced Wide

Acoustic

Cab Type	Microphones	Room Level	Room Size	Room Width
DI DI + ROOM	--	0-10	Small Medium Large	Close Spaced Wide

Bass

Cab Type	Microphones	Room Level	Room Size	Room Width
Unity Elite 210C Unity Elite 410C	--	0-10	Small Medium Large	Close Spaced Wide

CabRig スイッチを長押しすると、2 種類の CabRig モードを切り替えることができます。

- Patch - パッチに保存されている CabRig 設定を読み込みます。
- Global - パッチを切り替えても共通の CabRig 設定を使用します。気に入った CabRig 設定を常に一定に保ちたい場合に便利です。

注記: マニュアルモード(14) では、CabRig モードは常に Global に固定されます。

エフェクト(EFFECTS)

エフェクト機能の詳細については、19 ページをご参照ください。

17. PRE FX

本スイッチを押すことで、Pre FX エフェクトの オン/オフ、または 編集対象として選択(フォーカス)します。本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

18. MOD

本スイッチを押すことで、モジュレーション・エフェクトの オン/オフ、または 編集対象として選択(フォーカス)します。本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

19. DLY

本スイッチを押すことで、ディレイ・エフェクトの オン/オフ、または 編集対象として選択(フォーカス)します。本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

20. REV

本スイッチを押すことで、リバース・エフェクトの オン/オフ、または 編集対象として選択(フォーカス)します。本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

21. TYPE

押すと、現在フォーカスされている エフェクト/Cab タイプの一覧を表示します。タイプ一覧が表示されている状態では、エンコーダーを回してタイプを切り替えます。エフェクト/Cab のパラメータ画面が表示されている場合は、エンコーダーを回してパラメータ値を調整します。

22. PAGE

押すと、次のパラメータページを表示します。
エンコーダーを回すことで、各パラメータの値を調整できます。

エクスプレッション・ペダル(ID:X Floor Two および Three のみ)

23. EXP MODE (VOL / WAH / CUSTOM)

エクスプレッション・ペダルの動作モードを、以下の 3 種類から切り替えます。

VOL: ボリューム・ペダル

WAH: ワウ・ペダル

CUSTOM: 任意に割り当てたアンプまたはエフェクトのパラメータ

エクスプレッション・ペダルの詳細については、21 ページをご参照ください。

24. EXPRESSION PEDAL

スイッチで選択したモードに応じて、足元でトーンをコントロールします。演奏中に手を使わず操作できるため、非常に効果的です。詳細については、21 ページをご参照ください。

フットスイッチ(FOOTSWITCHES)

25. PATCH UP / DOWN(ID:X Floor One & Two のみ)

パッチ 01-1 ~ 33-3 を上下に切り替えます。
いずれかのボタンを押し続けると、より高速にスクロールします。

26. CH1 | CH2 | CH3(ID:X Floor Three のみ)

現在のバンク内にある 3 つのパッチを選択します。

- CH1 + CH2 同時押し:下のバンクを選択
- CH2 + CH3 同時押し:上のバンクを選択

パッチの詳細については、22 ページをご参照ください。

27. EFFECT フットスイッチ(ID:X Floor Three のみ)

フットスイッチ操作により、各エフェクトのオン/オフを切り替えます。
エフェクトを有効にすると、そのエフェクトが編集対象としてフォーカスされます。
MODULATION、DELAY、または REVERB の各フットスイッチを押し続けることで、特定のエフェクト・パラメータを一時的に増加させることができます。
スイッチを離すと、元の設定に戻ります。

28. TAP(長押し:TUNER)

一定のリズムで TAP を押すことで、フォーカスされている DLY または MOD に応じて、ディレイタイムまたはモジュレーション速度をタップ入力により設定します。
エフェクト・フォーカスの詳細については、20 ページをご参照ください。

注記: モジュレーションおよびディレイ・エフェクトは、それぞれ独立したタップ値を持っています。

TAP を長押しするとチューナーモードに入ります。
チューナーモードを終了するには、TAP または他のいずれかのスイッチを押してください。
初期設定では、チューナーモード中は音声出力がミュートされます。
この設定は Architect ソフトウェアにて変更可能です。

リアパネル

1. ¼インチ INPUT ジャック

ギター、ベース、またはアコースティックギターを接続します。

2. FX LOOP(ID:X Floor Three のみ)

EFFECTS LOOP SEND

外部エフェクト機器のモノラル入力へ接続します。
エフェクトループ・センドは、PRE FX の後段、かつ パワーアンプ段[Volume(3)、Resonance(10)、Presence(11)、Response(12)]および MOD、DLY、REV エフェクトの前段から出力されます。

EFFECTS LOOP RETURN

外部エフェクト機器のモノラル出力を接続します。

3. 'TO AMP' OUTPUT

TO AMP 出力は、CabRig をバイパスした信号を出力し、外部パワーアンプおよび実際のギターキャビネットと組み合わせて使用するための出力です。
これにより、ステージ上では外部パワーアンプとトラディショナルなキャビネットを使用しつつ、同時にミキサーやヘッドホンへ CabRig を適用したフル信号を送ることが可能です

注記: ID:X Floor には 内蔵パワーアンプは搭載されていません。本出力をギターキャビネットへ直接接続しても音は出力されません。

また、CabRig がバイパスされているため、本出力を FRFR (フルレンジ・フラットレスポンス) スピーカー、ミキサー、PA システムへ接続すると、正しいサウンドは得られません。

4. USB

標準的な USB-C ケーブルを使用して、PC、Mac、または対応するレコーディング機器へ直接接続します。

USB デジタルオーディオ機能および、Blackstar の Architect ソフトウェアとの接続が可能です。

注記: Windows をご利用の場合は、オーディオドライバーのインストールが必要です。ドライバーは、Blackstar アカウントの製品ダウンロードページより入手できます。製品登録および各種情報は、以下の URL よりご確認ください。blackstaramps.com

USB オーディオ出力(デバイス → コンピューター)

以下の 4 チャンネルがデバイスからコンピューターへ送信され、DAW や録音ソフト上では「入力」として認識されます。

- **Input 1 – CabRig L:**すべてのエフェクトおよび CabRig を含む、完全に処理されたギター音(左チャンネル)
- **Input 2 – CabRig R:**上記と同様の信号(右チャンネル)
- **Input 3 – Dry Guitar:**未処理のダイレクト・ギター入力。リアンプに最適。アンプ設定の影響を受けません
- **Input 4 – Preamp Out:**プリアンプ・ボイスおよび EQ のみ(パワーアンプ特性、MOD/DLY/REV、CabRig なし)。外部プラグイン使用に最適

ヒント: 真のステレオサウンドを得るには、DAW 上で Input 1 を左、Input 2 を右に完全にパンしてください。

USB オーディオ入力(コンピューター → デバイス)

コンピューターからのオーディオを本体で再生することも可能です。

- **Channel 1 – Left:**コンピューター音声のモニター/再生用
- **Channel 2 – Right:**コンピューター音声のモニター/再生用

これにより、ID:X Floor でギターを演奏しながら、コンピューターの動画や音楽を同時に再生できます。

5. ¼インチ ステレオ・ヘッドホン/ライン出力

ヘッドホンを接続するか、標準の ¼ インチ TS または TRS ケーブルを使用して、FRFR スピーカーキャビネット、レコーディング機器、またはミキシングデスクへ接続します。

ヘッドホン使用時は、必ず安全な音量でご使用ください。長時間にわたる大音量での使用は、恒久的な聴覚障害を引き起こす恐れがあります。

6. XLR 出力

標準の 3 ピン XLR ケーブルを使用して、レコーディング機器、ステージボックス、またはミキシングデスクへ接続します。

低ノイズ・低インピーダンスの信号を出力し、ライブおよびスタジオ用途の双方で高音質を実現します。ステレオ使用時は両方の出力を、モノラル使用時は L/Mono 出力のみを使用してください。

7. LINE IN/STREAMING

標準の 3.5mm AUX ケーブルを使用して、スマートフォン、タブレット、またはオーディオプレーヤーを接続し、音楽やバックグラウンドトラックを再生できます。

ヘッドホンと併用することで、ジャムセッションやサイレント練習に最適です。

また、TRRS ケーブルを使用することで、スマートフォンへ直接サウンドを録音することも可能です。

8. MIDI IN

MIDI メッセージを ID:X Floor に送信する際に使用します。

MIDI の詳細については、24 ページをご参照ください。

9. MIDI THRU (ID:X Floor Three のみ)

MIDI IN 端子で受信した MIDI メッセージを、そのまま変更せずに出力します。

複数の MIDI 機器をデジチェーン接続する際に使用します。

詳細は、24 ページをご参照ください。

10. ケンジントン・ロック

Kensington Security Slot (K-Slot) と呼ばれる盗難防止用スロットです。

対応するケンジントン・ロックを使用し、ID:X Floor を固定物に施錠できます。

詳細は以下をご参照ください。 <http://www.kensington.com>

11. POWER

付属の 9V 電源アダプターを接続します。

ID:X Floor は、9V DC / 500mA / センターマイナス仕様の、標準バレルコネクタ電源を必要とします。

注記: 電源入力には、リアパネルに記載された電圧および消費電力に適合した電源アダプターのみを使用してください。

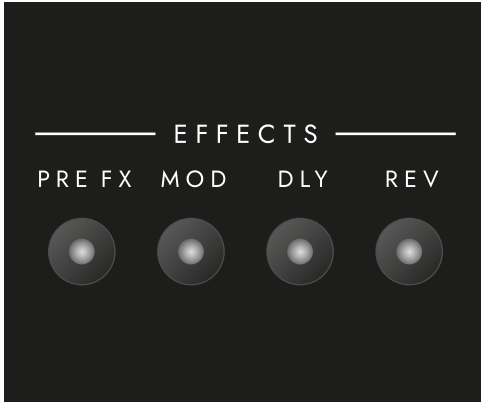
不明な点がある場合は、資格を有する技術者へご相談ください。

エフェクト(EFFECTS)

ID:X Floor シリーズは、世界的に有名な数々の名機エフェクトの本質を捉えると同時に、他では得られない独自のサウンドも備えた、次世代の高性能 FX エンジンを搭載しています。

クラシックなアナログ・スタイルのディレイやオーバードライブから、豊かで広がりのあるモジュレーション、アンビエントなリバーブに至るまで、すべてのエフェクトは高度な DSP 技術を用いて忠実に設計されており、本物さながらのトーンと演奏感を実現しています。

エフェクト・ブロック(Effect Blocks)

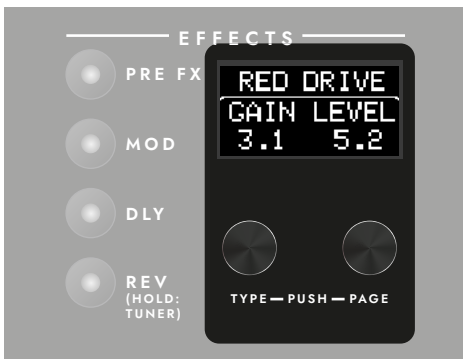


ID:X Floor には、Pre FX、Modulation、Delay、Reverb の4つの独立したエフェクト・ブロックが搭載されています。

各ブロックには 1 種類のエフェクトをロードすることができ、パラメータを調整したうえで、その設定全体をパッチの一部として保存することが可能です。

これにより、最大4つのエフェクトを同時に使用できます。

エフェクトのナビゲーションと選択



(ID:X FLOOR THREE)

TFX セクションには、Type と Page の2つのプッシュ式エンコーダーがあります。

どちらも回転させることでパラメータを調整できますが、押した際の役割が異なります

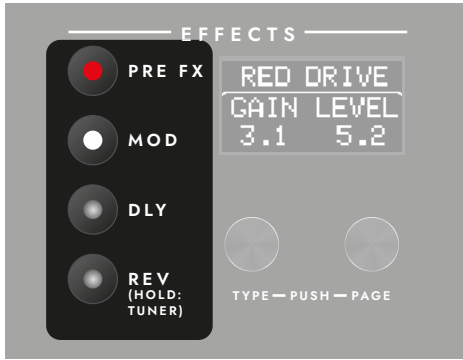
Type

- **Type を押す**:エフェクト・タイプ一覧を表示
- **Type を回す**:エフェクト・タイプをスクロールし、試聴
- **再度 Type を押す**:パラメータ画面に戻る

Page

- **Page を押す**:追加のエフェクト・パラメータを表示(対応している場合)
- **再度 Page を押す**:前のパラメータ画面に戻る

FX ブロックのフォーカス



エフェクトを有効にするには、各エフェクト・ブロックのスイッチ (PRE FX、MOD、DLY、REV) を押します。
各エフェクト・ブロックには LED が搭載されており、状態を示します。

- **白**:エフェクトがオンで、現在編集対象(フォーカス中) → パラメータが OLED 画面に表示されます
- **赤**:エフェクトはオンだが、現在はフォーカスされていません
- **消灯**:エフェクトはバイパスされています

注記: 同時にフォーカスできるブロックは 1つのみです。
現在フォーカスされているエフェクトをオフにすると、自動的に次に有効なブロックへフォーカスが移動します。この際、別の LED が赤から白に切り替わることがあります。

覚え方としては、白＝編集集中、赤＝有効だが未フォーカス、消灯＝オフ です。

ディレイ・タイム表示

ディレイ・タイムは、BPM (beats per minute) または MS (ミリ秒) のいずれかで表示できます。

- **BPM**: 楽曲テンポに対するディレイ・タイムを表示 → フレーズを楽曲のビートに同期させたい場合に最適
- **MS**: リピート間の正確な時間を表示 → 感覚的、または耳で微調整したい場合に有効

これらの表示切り替えは、Architect の「Display BPM/MS」設定で行えます。
初期設定は BPM です。

TAP ボタン

TAP ボタンは、ディレイやモジュレーションなどの 時間系エフェクトのテンポ設定に使用します。

- TAP を一定のリズムで押すことでテンポを設定
- テンポは、現在フォーカスされているエフェクト・ブロック (Delay または Modulation) に適用されます
- 各ブロックは 独立した TAP 値を保持するため、Delay と Modulation で異なるテンポ設定が可能です

タップ対象を変更したい場合は、先にそのエフェクト・ブロックをフォーカスしてください。

ディレイ・トレイル/リバーブ・テイル

初期設定では、ディレイやリバーブをオフにしても、残響(テイル)が自然に減衰しながら残る仕様になっています。これにより、エフェクトが不自然に途切れることはありません。この挙動は、Architect の「REV Tails」および「DLY Trails」設定で変更できます。

- On(初期設定):エフェクトをオフにしても残響が自然に減衰
- Off:エフェクトをオフにした瞬間に音がカットされます

エフェクトのオン/オフ時の切り替わりを、よりクリーンにするか、シームレスにするかを調整する際に有効です。**エフェクト詳細** 以下に、搭載されているすべてのエフェクト・タイプおよびパラメーター一覧を記載しています。

エクスプレッション・ペダル(EXPRESSION PEDAL)

内蔵エクスプレッション・ペダルにより、ボリューム、ワウ、アンプおよびエフェクト・パラメータを足元で操作することができます。

エクスプレッション・ペダルのオン/オフは、ペダルのトゥ側を踏み込み、トゥ・スイッチが作動するまで押すことで切り替わります。

EXP MODE(23) ボタンを押すことで、モードを切り替えます。

現在選択されているモードは、対応する LED により表示されます。

- **VOL モード** - EXP(23)を長押しすることで、Pre(プリアンプ前)とPost(シグナルチェーン最終段)を切り替えます
- 現在の設定は、ディスプレイ上に表示されます
- **WAH モード** - EXP(23)を長押しすることで、Classic Wah と Modern Wah のタイプを切り替えます
- 現在の設定は、ディスプレイ上に表示されます

CUSTOM 割り当て - エクスプレッション・ペダルを、対応する任意のパラメータへ割り当て、リアルタイムにコントロールすることができます。

- CUSTOM モードで EXP(23)を長押しすると、割り当てモードに入ります(画面に案内が表示されます)
- 次に、任意のパラメータを1つ動かしてください 最初に操作したコントロールが割り当て対象となります
- エンコーダーを押してページ切り替えやエフェクト・タイプ変更を行っても、割り当ては行われません(割り当ては、パラメータを回した場合のみ)
- 再割り当てを行う場合は、上記手順を再度実行してください

割り当て可能な項目 連続的に変化するアンプまたはエフェクトのパラメータのみ
(例:Reverb Mix、Delay Time、Amp Treble など)

割り当て不可の項目 - オン/オフや 3 段階切り替えなどのディスクリート操作、およびすべての CabRig パラメータ

注記: エフェクトがすでにオンの状態でパラメータが保存されている場合、エクスプレッション・ペダルは、保存時の値(リコールポイント)を超えるまで制御を引き継ぎません。画面上のマーカー(目印)を確認し、それを越えた時点から、エクスプレッション・ペダルによるコントロールが有効になります。

キャリブレーション

エクスプレッション・ペダルは、出荷時に工場キャリブレーションされています。

再キャリブレーションが必要な場合は、Blackstar Architect ソフトウェアに接続し、Settings → Calibrate Expression を開き、画面の指示に従って操作してください。

パッチ (PATCHES)

ID:X Floor アンプ・モデラーでは、パッチの保存および呼び出しが可能です。
 パッチとは、Voice、トーンコントロール、エフェクト、Response、CabRig 設定などを含む、現在のサウンド全体を記録したスナップショットです。
 パッチを保存することで、そのサウンドを後から瞬時に呼び出すことができます。

MASTER (8) レベルはパッチには保存されません。
 これは、異なるパッチを切り替えた際に、急激な音量変化が発生するのを防ぐためです。

本機では、最大99パッチを保存可能で、33バンク × 各バンク3チャンネルの構成となっています。

パッチの移動方法

ID:X Floor One / Two

1. PATCH UP / DOWN (25) フットスイッチを押してパッチを切り替えます いずれかを押し続けると、高速でスクロールします

ID:X FLOOR Three

1. CH1 + CH2 または CH2 + CH3 (26) を同時押しして、バンクを上下に移動します
2. CH1 / CH2 / CH3 (26) のいずれかを押し、現在のバンク内の 3 つのパッチから 1 つを選択します

注記: 初期設定では、バンクを切り替えても 同じチャンネル番号が維持されます。
 この動作は、Architect の「Retain Patch On Bank Change」設定で変更可能です。

Off: Bank01 Ch3 → バンク切替 → Bank02 Ch1 を呼び出し

On: Bank01 Ch3 → バンク切替 → Bank02 Ch3 を呼び出し

パッチの保存方法

現在のサウンドを保存するには、以下の手順を行ってください。

1. MANUAL (14) + SHIFT (15) を同時に押します
2. パッチ LED が点滅し、保存先パッチの選択を促す表示が出ます
3. 必要に応じて、保存したいパッチ位置へ移動します
4. 再度 MANUAL (14) + SHIFT (15) を同時に押して確定します
5. パッチが保存されます

注記: パッチ保存時には、現在のパッチ名も選択したスロットに保存されます。パッチ名の変更、並び替え、バックアップを素早く行いたい場合は、ID:X Floor を USB 接続し、Blackstar Architect ソフトウェアをご利用ください。

パッチ・リコールおよびリコール・ディスタンス・リング



パッチを読み込むと、アンプの各設定は保存されている値に即座に更新されますが、物理ノブの位置が必ずしもその値と一致しているとは限りません。

この問題を解消するため、ID:X Floor では、該当するパラメータの周囲に リコール・ディスタンス・リングを OLED 画面上に表示します。

このリングにより、急激な音量変化やトーンジャンプを起こすことなく、ノブの物理位置をパッチに保存された値へ安全に合わせることができ、保存済みパッチを微調整する際に最適です。

- リコール・ディスタンス・リング上の 目盛(ティック) は、パッチに保存されている正確な値を示します
- ノブを回すと、リングがそのティックに向かって徐々に縮まります
- 調整がティックを通過した時点で、ノブの値が有効となり、音に反映されます
- ティックは、通過後も基準点として表示され続けます

この仕組みにより、調整操作は常にスムーズに行え、元のトーン設定位置を視覚的に把握しながら編集することが可能です。

マニュアル・モード(Manual Mode)

MANUAL(14) を押すと、マニュアル・モードに入ります。

このモードでは、アンプの各ノブの実際の位置がそのままサウンドに反映されます。

「見たまま=聴こえたまま」の状態となるため、ゼロからトーンを作り込む場合や、新しいサウンドを作成する際の出発点として最適です。

マニュアル・モードからの保存

好みのサウンドが完成したら、通常のパッチと同様に保存することができます。

1. MANUAL(14) + SHIFT(15) を同時に押します
2. パッチ LED が点滅し、保存先パッチの選択を促す表示が出ます
3. 必要に応じて、保存したいパッチ位置へ移動します
4. 再度 MANUAL(14) + SHIFT(15) を同時に押して確定します
5. パッチが保存されます

これにより、現在の設定がパッチとして保存されます。

マニュアル・モードから保存したパッチは、「MANUAL MODE #」に連番が付いた名称となります。

パッチ名の変更については、Blackstar Architect ソフトウェアをご利用ください。

注記: Gate(9)、Resonance(10)、Presence(11)、Response(12)、Expression Mode(23)などの一部のコントロールは、マニュアル・モードに入った際に初期設定値が適用されます。これらの初期設定値は、Architect ソフトウェアにて変更可能です。

ファクトリー・リセット (Factory Reset)

本機は、工場出荷時のパッチおよび設定を、いつでも復元することができます。
リセットは、以下の 2通りの方法で実行可能です。

1. 本体の電源を入れる際に、MOD、DLY、REV の各スイッチを同時に押し続ける
2. 本機を USB 経由で Architect ソフトウェアに接続し、Settings → General →「Restore Patches and Settings」を選択する

リセット開始前に、画面上に カウントダウン表示が行われます。

フロントパネル操作によるリセットの場合、
カウントダウンが終了する前に MOD、DLY、REV のいずれかのスイッチを離すと、リセットはキャンセルされ、現在の設定は保持されます。

重要: この操作を行うと、ユーザーが保存したすべてのパッチおよび設定は上書きされ、消去されます。

チューナー (Tuner)

内蔵のクロマチック・チューナーにより、追加機材を使用することなく、常に正確なチューニングを行うことができます。

チューナーを起動するには、TAP (28) フットスイッチを長押ししてください。

画面がチューナー・モードに切り替わります。

使用方法

- 開放弦を1音ずつ鳴らします
- ディスプレイに、最も近い音名と、音程がシャープかフラットかが表示されます
- インジケーターが中央に合い、画面表示が白色になればチューニング完了です

チューナーの終了方法

チューナー・モード中に、いずれかのボタンやフットスイッチを押す、または任意のコントロールを操作すると、即座にチューナー・モードを終了します。

注記: 初期設定では、チューナー・モード中はすべてのオーディオ出力がミュートされます。
この設定は、Architect ソフトウェアにて変更可能です。

MIDI コントロール (MIDI Control)

ID:X Floor は、**MIDI プログラムチェンジ (PC) **および コントロールチェンジ (CC) メッセージに対応しており、パッチ切替やエフェクトのオン/オフなどを外部から操作することができます。

MIDI コントローラーは、リアパネルにある MIDI IN 端子へ接続してください。

プログラムチェンジ (PC) メッセージ

- PC 0 : マニュアル・モード
- PC 1 : バンク 01 チャンネル 1
- ...
- PC 99 : バンク 33 チャンネル 3

注記: PC 100~127 のメッセージは無視されます。

コントロールチェンジ (CC) メッセージ

- Bank 01 Channel 1 = 01A
- Bank 01 Channel 2 = 01B
- Bank 01 Channel 3 = 01C

対応している MIDI CC メッセージおよびその値の一覧については、以下の MIDI 機能一覧表 (MIDI Function Table) をご参照ください。

Midi Function Table - Part One

Category	Function	CC#	Value
Voice	Clean Warm	1	≥64 = On
	Clean Bright	2	≥64 = On
	Crunch	3	≥64 = On
	Super Crunch	4	≥64 = On
	OD1	5	≥64 = On
	OD 2	6	≥64 = On
	Ampton Twin	8	≥64 = On
	Ampton ACE30	9	≥64 = On
	Ampton Plexi	10	≥64 = On
	Ampton 800	11	≥64 = On
	Ampton 6L6	12	≥64 = On
	Ampton Rec	13	≥64 = On
	Acoustic 1	14	≥64 = On
	Acoustic 2	15	≥64 = On
	Acoustic Sim	16	≥64 = On
	Bass Classic	17	≥64 = On
	Bass Modern	18	≥64 = On
Bass Flat	19	≥64 = On	
Amp	Gain	21	0-127
	Volume	22	0-127
	Bass	23	0-127
	Middle	24	0-127
	Treble	25	0-127
	ISF	26	0-127
Response	Res	27	0-127
	Pres	28	0-127
	EL84	29	≥64 = On
	EL34	30	≥64 = On
	6L6	31	≥64 = On
Output	Master	7	0-127
PRE FX	On / Off	40	0-63 = Off 64-127 = On
	Type	49	0-127
	Param 1	41	0-127
	Param 2	42	0-127
	Param 3	43	0-127
	Param 4	44	0-127

Midi Function Table - Part Two

Category	Function	CC#	Value
MOD	On / Off	50	0-63 = Off 64-127 = On
	Type	59	0-127
	Param 1	51	0-127
	Param 2	52	0-127
	Param 3	53	0-127
	Param 4	54	0-127
DLY	On / Off	70	0-63 = Off 64-127 = On
	Type	79	0-127
	Param 1	71	0-127
	Param 2	72	0-127
	Param 3	73	0-127
	Param 4	74	0-127
REV	On / Off	80	0-63 = Off 64-127 = On
	Type	89	0-127
	Param 1	81	0-127
	Param 2	82	0-127
	Param 3	83	0-127
	Param 4	84	0-127
GATE	On / Off	90	0-63 = Off 64-127 = On
	Gate (Control)	91	0-127
OTHER	ALL FX ON / OFF Only currently enabled effects	100	0-63 = Off 64-127 = On
	REV TAILS ON / OFF	101	0-63 = Off 64-127 = On
	DELAY TAILS ON / OFF	102	0-63 = Off 64-127 = On
	Tap DLY	103	127 = Trigger Tap
	Tap MOD	104	127 = Trigger Tap
	Tuner	105	0-63 = Closed 64-127 = Open
	Patch Change	32	0-99 0=Manual Mode 1=Bank01Ch1 ... 99=Bank33Ch3
CabRig	CabRig GLOBAL Mode	111	≥64 = On
	CabRig PATCH Mode	112	≥64 = On

Effect Descriptions

Pre FX

Effect Name	Effect Description	Parameter	Parameter Description
VALVE BST	Based on the Blackstar Dept. 10 Valve Boost, known for its harmonically rich overtones.	BOOST	Controls the level of the clean boost, into subtle valve warmth.
		TONE	Shapes the brightness or darkness of the effect.
RED DRIVE	Based on the crunch channel of the Blackstar Dept. 10 Dual Drive.	GAIN	Amount of overdrive or distortion.
		LEVEL	Overall output level of the effect.
		TONE	Shapes the brightness or darkness of the effect.
TS DRIVE	Based on the classic green box, heard on many classic recordings.	DRIVE	Amount of overdrive or distortion.
		LEVEL	Overall output level of the effect.
		TONE	Shapes the brightness or darkness of the effect.
K DRIVE	Based on arguably the most famous and sought after drive pedal.	GAIN	Amount of overdrive or distortion.
		LEVEL	Overall output level of the effect.
		TREBLE	Shapes the brightness or darkness of the effect.
BLUE DRIVE	Based on the compact blues overdrive pedal.	GAIN	Amount of overdrive or distortion.
		LEVEL	Overall output level of the effect.
		TONE	Shapes the brightness or darkness of the effect.
YEL DRIVE	Based on the classic yellow overdrive.	DRIVE	Amount of overdrive or distortion.
		LEVEL	Overall output level of the effect.
		TONE	Shapes the brightness or darkness of the effect.
OG DIST	Based on the original orange distortion pedal from the 1970s.	DIST	Amount of overdrive or distortion.
		LEVEL	Overall output level of the effect.
		TONE	Shapes the brightness or darkness of the effect.
RODENT	Based on a classic distortion pedal that was a huge part of the grunge movement in the 90s.	DIST	Amount of overdrive or distortion.
		LEVEL	Overall output level of the effect.
		TONE	Shapes the brightness or darkness of the effect.
PIE FUZZ	Based on the classic 70s big box fuzz.	FUZZ	Amount of fuzz and saturation.
		LEVEL	Overall output level of the effect.
		TONE	Shapes the brightness or darkness of the effect.
SMILE FUZZ	Based on the big round blue fuzz.	FUZZ	Amount of fuzz and saturation
		LEVEL	Overall output level of the effect.
COMPRESSOR	Based on the Blackstar St. James Plugin Compressor, Simple and effective.	SUSTAIN	Adjusts the compression intensity and how long notes are held.
RED SQUASH	Based on the infamous two knob red compressor, great for sustaining leads and rhythmic funk sounds.	AMT	Adjusts the compression intensity and how long notes are held.
		LEVEL	Overall output level of the effect.
ENV FILTER	Adaptive filter that reacts to your playing in real time.	GAIN	Sets input sensitivity, adjust for different guitar pickups.
		PEAK	Controls the peak frequency.
		TYPE	Changes the shape of the filter from Low Pass, Band Pass, to High Pass
AUTO WAH	Adaptive auto wah that reacts to your playing in real time.	RANGE	Sets how wide the filter sweeps.
		SENS	Sets how the wah reacts to playing intensity, adjust for different guitar pickups.
		Q	Sets the sharpness of the filter.
OG FUZZ	Based on the first ever fuzz pedal, used on 'Satisfaction' and countless other hits.	FUZZ	Amount of fuzz and saturation.
		LEVEL	Overall output level of the effect.

Effect Descriptions

Mod

Effect Name	Effect Description	Parameter	Parameter Description
CHORUS	Based on the classic compact triangle wave analogue chorus pedal.	RATE	Sets the speed of modulation or effect movement.
		DEPTH	Controls the intensity of the effect.
		WIDE	Controls stereo width or spaciousness.
FLANGER	Based on the St. James Plugin Flanger.	SPEED	Sets the speed of modulation or effect movement.
		DEPTH	Controls the intensity of the effect.
		WIDTH	Increases the stereo spread or range.
		RANGE	Adjusts the range of the delay time modulation
ECLT FLNGR	Based on a legendary 70s flanger.	RATE	Sets the speed of modulation or effect movement.
		RANGE	Adjusts the range of the delay time modulation
		COLOR	Controls the intensity of the effect.
PHASER	Based on the St. James Plugin Phaser.	SPEED	Sets the speed of modulation or effect movement.
		DEPTH	Controls the intensity of the effect.
		PHASER	Increases the stereo spread or range.
		RES	Adjusts the feedback / resonance of the effect.
VINT PHASE	Based on the classic analogue phase shifter.	SPEED	Sets the speed of modulation or effect movement.
VIBE	Based on the 60s photocell phase / vibe circuit.	SPEED	Sets the speed of modulation or effect movement.
		DEPTH	Controls the intensity of the effect.
		LEVEL	Overall output level of the effect.
		TYPE	Selects either Chrous or Vibrato type
BIAS TREM	Based on a classic bias shifting amp tremolo, with sharp volume swells.	SPEED	Sets the rate of modulation.
		DEPTH	Controls the intensity of the effect.
		WIDTH	Increases the stereo spread or range.
HARM TREM	Based on the USA 'brown' era amp phase shifting tremolo.	SPEED	Sets the rate of modulation.
		DEPTH	Controls the intensity of the effect.
		XOVER	Adjusts the crossover frequency for high / low modulation.
		WIDE	Increases the stereo spread or range.
OPTO TREM	Based on a classic opto amp tremolo, smooth sinewave like volume swells.	SPEED	Sets the rate of modulation.
		DEPTH	Controls the intensity of the effect.
		WIDTH	Increases the stereo spread or range.
VIBRATO	Based on the famous analogue Japanese vibrato pedal.	SPEED	Sets the rate of modulation.
		DEPTH	Controls the intensity of the effect.

Effect Descriptions

Dly

Effect Name	Effect Description	Parameter	Parameter Description
ANALOG DLY	Based on an analogue Japanese delay, with added mod circuit.	MIX	Balance between dry and effected signal.
		FDBK	Controls the number of repeats or feedback.
		TIME	Adjusts the delay time.
		TONE	Shapes the brightness or darkness of the effect.
DIGI DELAY	Based on the classic white digital delay pedal.	MIX	Balance between dry and effected signal.
		FDBK	Controls the number of repeats or feedback.
		TIME	Adjusts the delay time.
		PONG	Pans repeats between left and right output.
TAPE ECHO	Based on a vintage tape echo, great for characterful repeats that modulate naturally.	MIX	Balance between dry and effected signal.
		FDBK	Controls the number of repeats or feedback.
		TIME	Adjusts the delay time.
		AGE	Changes the Tape Age between 'New' and 'Old' for different sonic characteristics
MULTI TAP DLY	Based on an otherworldly green echo delay.	MIX	Balance between dry and effected signal.
		FDBK	Controls the number of repeats or feedback.
		TIME	Adjusts the delay time.
		PONG	Pans repeats between left and right output.
SHIMMR DLY	Pitch shifting delay with a sparkling high octave.	MIX	Balance between dry and effected signal.
		FDBK	Controls the number of repeats or feedback.
		TIME	Adjusts the delay time.
		SHIM	Increases high octave shimmer amount.

Rev

Effect Name	Effect Description	Parameter	Parameter Description
HALL	Based on a classic concert hall.	SIZE	Increases the size of the space and length of decay.
		MIX	Balance between dry and effected signal.
		TONE	Shapes the brightness or darkness of the effect.
		WIDE	Controls stereo width or spaciousness.
PLATE	Based on a vintage electro-mechanical reverberation plate.	SIZE	Increases the size of the space and length of decay.
		MIX	Balance between dry and effected signal.
		TONE	Shapes the brightness or darkness of the effect.
		WIDE	Controls stereo width or spaciousness.
SPRING	Based on a valve reverb tank from the early 1960s.	DECAY	Increases the size of the space and length of decay.
		MIX	Balance between dry and effected signal.
		TONE	Shapes the brightness or darkness of the effect.
		DRIP	Adjusts how much 'drip' or spring transients are in the reverb tail.
CHAMBER	Based on the Capitol Studios LA chamber.	SIZE	Increases the size of the space and length of decay.
		MIX	Balance between dry and effected signal.
		TONE	Shapes the brightness or darkness of the effect.
		WIDE	Controls stereo width or spaciousness.
CATHEDRAL	Based on the ambience of an historic cathedral.	SIZE	Increases the size of the space and length of decay.
		MIX	Balance between dry and effected signal.
		TONE	Shapes the brightness or darkness of the effect.
		WIDE	Controls stereo width or spaciousness.

技術仕様

ID:X FLOOR ONE

重量(kg): 1.33 kg

寸法(mm): 215 x 68 x 155

ID:X FLOOR TWO

重量(kg): 2.07 kg

寸法(mm): 315 x 68 x 173

ID:X FLOOR THREE

重量(kg): 2.88 kg

寸法(mm): 397 x 68 x 195

Blackstar Amplification Ltd, Beckett House, 14 Billing Road, Northampton, NN1 5AW, UK
For the latest information go to: www.blackstaramps.com

Whilst the information contained herein is correct at the time of publication, due to our policy of constant improvement and development, Blackstar Amplification Ltd reserves the right to alter specifications without prior notice.